

SunRise 社、バングラデシュでモリンガのバリューチェーンを構築

SDGs ビジネス調査で採択

国際協力機構（JICA）は、「途上国の課題解決型ビジネス（SDGs ビジネス）調査」（注）において、株式会社 SunRise（沖縄県石垣市、山原代表取締役）及びイチバンライフ株式会社（神奈川県横浜市、鮎澤大代表取締役）が提案する「農家の収入向上のためのモリンガ[※]生産・加工品販売ビジネス（SDGs ビジネス）調査」を採択しました。

バングラデシュでは、農作物の高付加価値化と農家の収入向上が課題となっています。この調査を通じ、高付加価値のモリンガ製品を生産・販売することで農家の収入向上を目指します。

モリンガ栽培及びモリンガ製品を日本国内にて展開する SunRise 社と、既に同国でのモリンガ栽培の経験や現地ネットワークを有するイチバンライフ社がパートナーシップを組み、ビジネスを実現することで、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール 10；「各国内及び各国間の不平等を是正する」に貢献することが期待されています。



（注）本制度は、開発途上国における持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献するビジネスを計画している本邦法人からの提案に基づき、ビジネスモデルの開発、事業計画の策定、並びに JICA 事業との協働事業の可能性等について検討・確認を行うものであり、JICA では 2017 年より開始しました。

* 参考：途上国の課題解決型ビジネス（SDGs ビジネス）調査

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/sdgsbvs/bop/index.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 民間連携事業部連携推進課

TEL : 03-5226-6960 e-mail : ostpp-contact@jica.go.jp

※ モリンガはアミノ酸や鉄分、カルシウムを豊富に含む高栄養価の植物であり、種から取れる高級シードオイルは、化粧品等に使用することができる。